

令和5年2月定例会

福井県議会だより

第40号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



【お祭り日和】 福井大学写真部 提供
撮影場所:足羽川並木

定例会の概要

2月定例会は、2月8日に開会し、3月3日までの24日間にわたって審議を行いました。

開会日には、知事から令和5年度当初予算案をはじめとする68件の議案が提出されました。また、北陸新幹線敦賀・大阪間の早期の認可・着工と全線整備や原子力政策の着実な推進を国に求める2件の意見書案を可決しました。

今年は統一地方選挙を控え、当初予算案は骨格予算となりましたが、電気・ガス料金などの物価高騰対策や、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた県内の機運醸成や首都圏でのプロモーションなど、年度当初から準備が必要な事業が盛り込まれました。

今定例会では、北陸新幹線の整備について、令和5年度当初とされていた敦賀以西の認可・着工が見送られたことを受け、早期全線整備に向けたスケジュール感の提示や沿線住民の理解促進について、国にどのような対応を求めるのかただすとともに、原子力政策については、次世代革新炉の開発・建設や原子炉60年超運転延長など、国の原子力政策の具体化を受けた県の対応について議論が交わされました。

そのほかにも、人口減少対策、北陸新幹線県内開業に向けた

観光戦略、高齢者・障がい者福祉政策、産業振興、農林水産行政、国土強靱化、教育政策など県政全般にわたり広範な議論が行われました。

このような審議を経て、閉会日に追加上程された福井県収用委員会委員任命の同意1件を含む知事提出議案69件を可決・同意しました。また、議員提出の条例等改正案2件を可決し、今定例会に付議された案件の審議を終了しました。

今定例会は、任期最後の議会であることから、議事終了後、今限りで勇退される山本文雄議員、山本芳男議員、関孝治議員、鈴木宏紀議員、鈴木宏治議員の5人から挨拶がありました。最後に、議長が任期4年間を振り返って挨拶し、長期ビジョンの策定や新型コロナへの対応、北陸新幹線整備や原子力政策、人口減少対策などについて熱心な議論が行われたことや、今国会に地方議会の役割を明確化するための地方自治法改正案が提出されていることに触れ、選挙に臨む議員の健闘を祈り、議会を閉会しました。

閉会後には、恒例により、福井県と福井県議会の発展を祈念し、知事等を含め全員で万歳を三唱しました。

議会改革検討会議の取組みについて

議会改革検討会議では、議会機能の強化や効果的な議会運営等について検討しています。

新型コロナウイルスの影響を受け、感染症拡大時や災害時の業務継続性保持、業務効率化等の観点から、行政の各分野においてデジタル化が進められており、県議会においても、令和2年度に当検討会議内に各会派の議員から構成されたワーキンググループ（座長 宮本 俊議員）を設け、ICT化推進について検討を進めてきました。

ワーキンググループでの議論を踏まえ、令和4年度9月定例会から、議会のICT化（タブレット端末を活用した資料のペーパレス化、オンライン委員会等の開催）を本格的に開始しました。その主な内容についてご紹介します。

●資料のペーパレス化

本会議および委員会ならびに全員協議会などの協議等の場において、ペーパレス会議システムを活用した効率的な議会運営を行うため、令和3年度に引き続きワーキンググループのメンバーを中心に試験運用を行った後、令和4年9月から全議員による運用を開始しました。

●オンライン委員会等の開催

緊急時等にオンライン形式による委員会や協議等の場を開催できるよう、オンライン会議の開催条件や運用に関する規程の改正等を行うとともに、委員会室等にオンライン会議システムを整備しました。

11月の予算決算特別委員会の総括審査（決算）では、委員会室への参集が困難な委員がオンラインで委員会に出席し、議案の採決にも参加しました。

●議員と議会局の連携強化

タブレット端末のメールやチャット機能等を活用した議員と議会局等との連絡体制を構築し、令和4年9月から本格運用を開始しました。



（タブレット端末を利用して資料を閲覧する様子）



（オンラインでの出席者も加わっての議案の採決の様子）

詳しくは、福井県議会 HP をご覧ください。

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gikai-soumu/ugoki/gikai-ict.html>





審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

代表質問

福井県議会だより 第40号 | 3

自民党福井県議会 宮本 俊 議員



知事の政治姿勢について

- ・長期ビジョンに基づくこれまでの取組みの総括を伺うとともに、福井の新しい時代をどのように拓いていくのか、知事の想いと覚悟を伺う。
- ・令和5年度当初予算案に込めた北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた知事の想いを伺うとともに、知事の想いを具現化するための主要な事業等について、所見を伺う。

自民党福井県議会 山本 建 議員



健康福祉行政について

- ・急速な少子化が進む中、本県の合計特殊出生率が向上しない原因がどこにあると考えているのか、知事の見解を伺うとともに、今後の自然減対策の方針について、所見を伺う。

産業行政について

- ・ふくい経済ビジョンが目指す将来像に対する知事の想いを伺うとともに、実現に向けた今後の取組みについて、所見を伺う。

民主・みらい 北川 博規 議員



知事の政治姿勢について

- ・人口減少対策について、過度な東京一極集中により出生率は低迷し、年間の出生数が80万人を割ろうとする著しい人口減少時代を迎えている中、国の新たな戦略を踏まえ、「ふくい創生・人口減少対策戦略」を見直し、本県の人口減少対策をより高度化させるべきと考えるが、知事の所見を伺う。

農業行政について

- ・本県農業の労働力の現状、および「新ふくいの農業基本計画」における担い手確保の進捗に対する認識を伺うとともに、来年度の計画見直しにおいては、人材育成・確保を最重要項目に位置付け、更なる新規就農者の拡大に向け、県内外の就農希望者への支援の充実と、県外でのPR強化を図るべきと考えるが、所見を伺う。

一般質問

民主・みらい 野田 哲生 議員



- ・医療従事者の確保
 - (1)看護師
 - (2)薬剤師
 - ・子育て支援
 - (1)高校授業料無償化の所得制限
 - (2)独自の子育て支援アンケート結果から
- 高校授業料無償化の所得制限の撤廃を！
看護師・薬剤師はゆとりある確保を！

自民党福井県議会 長田 光広 議員



- ・自然災害に備えた道路
- ・魅力ある産業を守り育てること
- ・神社・仏閣による誘客促進
- ・ワクチン接種

100年に一度の好機に愚直に県民目線第一に利他の志で頑張ります。

自民党福井県議会 松崎 雄城 議員



- ・人口減少対策
- ・教育政策
- ・産業政策

福井の最重要課題である人口減少に対し様々な視点から質問と提言をしました。

自民党福井県議会 兼井 大 議員



- ・出会い・結婚・子育て環境支援
- ・ふくいの森林・林業基本計画
- ・恐竜博物館からの県内周遊観光
- ・小規模集落の維持活性化

小規模・高齢化集落の維持活性化を、広域的な地域運営組織で支援を！

一般質問

公明党 西本 恵一 議員



- ・少子化対策
- ・物価対策
- ・県都活性化
- ・パートナーシップ宣誓制度
- ・第3次福井県動物愛護推進計画（案）

男性育休を図るとともに、取るだけ育休にならないよう取り組んでほしい。



無所属 細川 かをり 議員



- ・二次交通の整備とタクシー業界の今後
- ・少子化対策と結婚支援
- ・人間形成における遊びの大切さ
- ・地名と歴史
- ・原発事故時の損害賠償

二次交通整備は、観光・子供の送り迎え・高齢者の足として喫緊の課題です。



自民党福井県議会 山浦 光一郎 議員



- ・物価高（電気代の上昇）を受けての生活・企業支援
- ・人口減少と企業誘致
- ・漁業政策
- ・福井空港の利活用
- ・デジタル教材の開発と福井教育モデルの構築・発信

4年間県議会議員として活動させていただき、誠にありがとうございました！



自民党福井県議会 田中 三津彦 議員



- ・特定健診、がん検診
- ・民生委員等
- ・北陸新幹線県内開業に向けた新たな観光戦略

特定健診やがん検診、まずは受診が大事です。



自民党福井県議会 清水 智信 議員



- ・人口減少対策
- (1)奨学金返還支援制度
- (2)高等教育支援
- (3)日本一の結婚県へ
- ・福井の商業のにぎわい
- ・ふくいのでのブランド化

奨学金返還支援制度を提言し、高等教育支援も提言した。



自民党福井県議会 田中 宏典 議員



- ・高浜発電所4号機の原子炉自動停止
- ・原子力の平和利用に関する県民理解
- ・核燃料サイクル政策の堅持
- ・GXの推進と県の対応

GX実現のため、原子力の平和利用を推進し、核燃料サイクルの確立を求める！



自民党福井県議会 斉藤 新緑 議員



- ・観光行政と恐竜関連

観光行政の意義を再考し、多額の税金を使う「恐竜」に対する県民理解の促進を！



日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・どうする福井県一ゆきづまる原発推進と新幹線延伸計画
- ・異常な物価高にふさわしい県民生活応援を
- ・岸田政権の「戦後」を捨てる「新しい戦前」にNO！を

「物価高騰・年金下がった。新幹線より暮らしを応援して」の声を背に質問！



Facebookでも情報発信しています！



福井県議会
@fukuikengikai-公明・民進・自由

議会の日程や会議内容のほか、議長の公務や議員連盟の活動内容などを幅広く情報発信しています。

ぜひご覧いただき、いいね！やフォローをお願いします！

[県議会Facebook] URL : <https://www.facebook.com/fukuikengikai/>





審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

福井県議会だより 第40号 | 5

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・教員の担い手不足解消に向けて
- ・ハピラインの利用促進に向けて
- ・学校におけるフッ化物洗口実施



教員の担い手不足、ハピライン利用促進、フッ化物洗口について質疑。

無所属 鈴木 宏治 議員



- ・子育て応援
- ・農業政策



子育て応援のために必要となる財源について、個別の課題ごとに質疑。

自民党福井県議会 関 孝治 議員



- ・原子力



原子力・林業について質問した。

自民党福井県議会 西本 正俊 議員



- ・北陸新幹線小浜・京都ルート
の早期着工
- ・少子化対策
- ・県民アンケート結果



先送りされた小浜・京都ルート
の早期着工に向け機運醸成を図るのか知事に
たずねた。

自民党福井県議会 田中 敏幸 議員



- ・原子力政策



本質安全が保証された乾式再処理・
金属燃料・小型高速炉の実証を！

自民党福井県議会 鈴木 宏紀 議員



- ・観光行政
- ・土木行政



観光・土木行政について質問した。

自民党福井県議会 島田 欽一 議員



- ・越前海岸に繋がる東西道路の
充実
- ・伝統工芸産業の振興
- ・原材料価格高騰対策



越前海岸に繋がる道路の充実・伝統工
芸産業振興などについて質問した。

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



- ・県政全般



介護負担軽減に向け、在宅介護をする
家族に寄り添った支援の検討を。

代表質問、一般質問を行った議員は、この欄には掲載していませんが、予算決算特別委員会で、斉藤 新緑議員、宮本 俊議員も質問を行っています。

審議の様子は、議会ホームページからYouTubeでご覧になれます。

訃報のお知らせ

去る2月26日に小寺 惣吉議員が
ご逝去されました。

2月定例会閉会日には、本会議
場で同じ会派の仲倉 典克議員によ
る追悼演説と生前の功績をたたえ
る弔詞決議が行われ、大森 哲男
議長からご遺族へ弔詞が贈呈され
ました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げ
ます。



◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の
傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。
傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせする
モニターを配置しています（代表質問および一般質問）。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前（土・日・
祝日を除く）の正午までに申込みをしてください。傍聴
希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。
HP：<https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>

常任委員会

総務教育常任委員会

「福井県手数料徴収条例の一部改正について」などの10議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「福井県水道広域化推進プラン案」、「福井県県民社会貢献活動推進計画案」、「福井県学校教育DX推進計画(仮称)案」について調査を行うとともに、「県立大学恐竜学部(仮称)学部棟の整備」、「北陸新幹線敦賀・大阪間への対応」、「タクシー運転手の確保」、「部活動の地域移行の進め方」、「卒業式のマスク着用方針」などについて議論しました。



県立大学恐竜学部(仮称)学部棟の外観イメージ

厚生常任委員会

「福井県こども家族館の設置および管理に関する条例の一部改正について」などの6議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「福井県環境基本計画案」、「第7次福井県障がい者福祉計画案」、「第5次福井県ひとり親家庭自立支援計画案」、「第3次福井県動物愛護管理推進計画案」について調査を行うとともに、「原子力政策の方向性」、「高浜原子力発電所4号機のトラブル」、「新型コロナウイルス感染症対策」などについて議論しました。



農福連携の実施

産業常任委員会

「福井県まち・ひと・しごと創生基金条例の制定について」などの8議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「ふくい経済ビジョン案」、「福井県農林漁業における環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画案」などについて調査を行うとともに、「転出超過の要因の分析」、「ふくい桜マラソンでのおもてなし」、「企業誘致補助制度の支援内容」、「西武福井店の今後」、「第3次いちほまれブランド戦略における目標価格」などについて議論しました。



ふくい桜マラソン2024 PR活動

土木警察常任委員会

「福井県公安委員会等手数料徴収条例の一部改正について」、「福井県港湾施設管理条例の一部改正について」などの5議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「福井空港の将来像」について調査を行うとともに、「道路除雪」、「企業の少子化対策」、「資材高騰の状況」、「免許不要となる電動キックボードの事故防止」、「福井県警察での少子化対策・子育て世代への支援」、「原子力発電所の警備」、「警察官による飲酒運転・交通事故」などについて議論しました。



委員による福井空港の現地視察



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

福井県議会だより 第40号 | 7

本委員会に付託された令和5年度福井県一般会計予算などの39議案について審査を行った結果、原案のとおり可決しました。審査の過程であった主な質問や意見は次のとおりです。

○北陸新幹線敦賀以西について

認可・着工や全線開業に向けたスケジュール感が示されていない中、前に進んでいるということが目に見える形で示されることが重要であり、説明責任を果たすよう国に対しどのように交渉していくのか、具体的な戦略と覚悟をいただいたのに対し、「まずは進捗状況について情報共有できる場を作ってもらうことが重要であり、県議会とともにこれを形にしていくことに力を入れていきたい。その上で、北陸新幹線は南海トラフ地震への備え等、国土強靱化に必要不可欠であるので、国が前面に立って沿線全体の地域住民に必要性や効果をしっかりと訴え、理解を得よう求めている」との見解が示されました。

さらに、国の北陸新幹線事業推進調査予算の12億円余りは着工前にできること全体のどれくらいの割合を占めると考えるのかにたいして、「この調査は施工上の課題解決を図り、詳細な駅・ルートを検討するためのものであるが、国が全体像を示していない中で、工事の着工前にどのようなことができるのかについて、県としても把握できない状況」との答弁があり、委員からは、全体像が示されていないことで、今後の認可・着工に向けた動きが停滞することへの懸念が示されました。

また、小浜・京都ルート of 早期着工に向けた機運醸成策を質問したのに対し、「これまでも機運醸成のイベント等を行っており、これからさらにPRを強化して関西圏の駅で広告を出すことなどを行ってきたい」との見解が示されました。

○原子力政策について

60年を超えた原子炉の運転延長等国の原子力政策の方向性の変化を受けて、原子力発電所の安全確保という観点から県の対応をどのように変化させるのか見解をいただいたのに対し、「県として運転期間の延長などの新しい制度に対しチェックする項目が増えるかもしれないが、安全の確保を最優先に対応する姿勢は変わらない」との見解が示されました。

また、関西電力が今年末までに示すとしている使用済燃料の中間貯蔵施設の計画地点の確定について、その実現可能性と県の対応をいただいたのに対し、「関西電力自身が福井県に対して今年末までに計画地点を確定すると言っており、県として可能性を申し上げるものではなく、確実に国、事業者が形にしていこうと考えている。年末まで時間があると認識せず、一日も早く確定し提示するよう引き続き強く求めている」との見解が示されました。

さらに、新たな安全規制により、審査が厳しくなる中で安全性を確認する役割を果たしていけるのかとの質問に対し、「原子力の安全性は永遠の課題であり、一義的には国が安全審査を行って、監視をしていくものと思っている。その上で、福井県は立地地域として常に住民目線で監視を行っていき、住民の安全・安心を守っていききたい」との見解が示されました。

加えて、乾式再処理・金属燃料・小型高速炉の次世代型原子炉についての県の見解をいただいたのに対し、「高速炉の開発については、昨年12月に戦略ロードマップが改訂され、2024年度に実証炉の概念設計を行うということで、今夏にもナトリウム冷却の高速炉から炉型を選定していくという段階に入っていくと認識している」との見解が示されました。

○観光政策について

本県では冬期間に観光客の入込数が落ち込む傾向があることを受け、例えば、JR福井駅前の雪に覆われた恐竜オブジェの画像がSNS等で拡散していることから、こういうチャンスを活かして、恐竜をオールシーズン通用するキラーコンテンツに仕立ててほしいと求めたのに対し、「恐竜博物館のリニューアルにあわせて、特別展示室に大型モニ

ターを整備し実物大の恐竜が襲い掛かってくるような仕掛けも準備している。その上で、福井駅周辺のモニュメントや恐竜バス、恐竜列車、恐竜ホテルは年中稼働しており、1年を通して楽しめるということ在全国に発信していきたい」との見解が示されました。これに対し委員からはデジタルネイティブ世代の県職員の感性も取り入れていくべきとの意見がありました。

また、恐竜だけに力を入れるのではなく、九頭竜川や白山、東尋坊等、福井の歴史や文化に根付いた観光資源の磨き上げが重要との指摘があったのに対し、「決して恐竜だけとは思っておらず、東尋坊や禅の精神文化もあるし、伝統工芸も全国に誇れるものばかりである。まずは、キラーコンテンツとして恐竜を前面に出し、福井に目が向いたところで、自然や歴史を活かしたプロジェクトを用意しておくなど、相乗効果を図っていきたい」との答弁がありました。

○人口減少対策について

子育て支援の予算額と出生率の関係について、県の見解をいただいたのに対し、「合計特殊出生率上位の県が必ずしも多額の予算を費やしているわけではないが、直近10年間の各県の増減を見ても、少子化対策のためには、行政として必要な施策を講じ続けることが必要だと考えている」との見解が示されました。

さらに子育て支援については、家族というものに対する考え方、子どもを持つということに対する価値観などを高めていくことが重要であり予算によらない家族文化の醸成に注力することが必要ではないかといただいたのに対し、「基本的には婚姻や子どもについては自身で考えていただくことと思うが、結婚する、家族を持つことについてのポジティブなイメージを持ってもらうことは行政として重要である。また家族を持つことの大変さなどのネガティブなイメージを払拭するため、ベビーシッターやふく育タクシーなどの施策を考えながら実現していきたい」との見解が示されました。

また本県を移住先として選んでもらうために他自治体と異なる思い切った施策が必要であり、今後のさらなる移住施策をいただいたのに対し、「移住者がマイホームを持つときの住宅の改修費を最大150万円補助し空き家のリフォームにも活用していく。さらに三大都市圏以外からも子育て世帯が移住していただければ100万円を助成するという全国でも手厚い支援をしている」との見解が示されました。

○教育行政について

全国的に教員採用試験の受験者数が減少傾向にあり、本県でも今年度の志願者倍率が過去最低となったことを受けて、早期に対応の方向性を示すべきといただいたのに対し、「今年夏の教員採用選考試験から、大学3年時の受験を認めることや、県内講師歴5年を経過した志願者の一次試験免除、東京会場の設置を行う」との方針が示されました。

このほか、お子様連れ専用車両の整備、障がい者福祉計画の重点施策、伝統工芸産業の振興、いちほまれの広報、林業支援など広範多岐にわたり、理事者の見解と対応をいただきました。



福井駅西口の恐竜オブジェ

第19次民主議会の締めくりに当たって



第104代議長 大森 哲男

第19次民主議会は、令和元年5月から今定例会まで20回に及びます。この間、県民の皆様のご支援と理事者各位のご協力のもと、県民福祉の向上と県勢発展のため、議員としての職責を果たし得たことは大きな喜びであり、感慨深いものがあります。

振り返りますと、第19次民主議会は杉本県政のスタートを受け、2040年を目標とする「福井県長期ビジョン」の策定に向けた議論で幕を開けました。

北陸新幹線等の高速交通網の整備により、本県が100年に一度の飛躍のチャンスを迎える一方、国内では人口減少や高齢化の進行、世界では地球温暖化や経済のグローバル化に伴う格差拡大等の課題に直面する中、持続可能な明るい将来像を描くための議論が行われました。

長期ビジョン策定の過程で、新型コロナウイルスの世界的な流行という、想定外の事態も発生しました。医療や福祉等の現場が、エッセンシャルワーカーの皆様の懸命な努力により支えられる中、県議会においても、感染防止対策や生活支援、経済対策等の補正予算の審議を重ねてきました。感染流行が4年目に入り、新型コロナ対策も大きな転換点を迎えようとしております。来年度は、家庭や学校、職場、地域等あらゆる場面でかつての日常が取り戻されることを願っております。

新型コロナの影響で、ソーシャルディスタンス等の新しい生活様式が定着する中、デジタルトランスフォーメーションの流れが一気に加速しました。オンライン授業やテレワークの環境整備が進み、県議会でもICT化を進め、昨年の9月定例会からタブレットを導入しました。ICTの活用による利便性の向上や効率化の流れは、今後ともあらゆる分野で加速していくことになると考えております。

災害等の危機事象も相次ぎました。令和元年夏の豚熱の流行、令和3年1月の大雪、昨年8月の南越前町・勝山市を中心とする大雨による被害等、住民の生命と財産を守るため、国土強靱化の重要性を改めて感じたところで。

原子力行政においては、国内初となる40年を超える原子力発電所の再稼働を巡り、真摯な議論が行われました。国においては、2050年カーボンニュートラルの実現や、ロシアのウクライナ侵略等の影響によるエネルギー危機に対応するため、先月、原子力の持続的な活用を含む「GX実現に向けた基本方針」が閣議決定されたところであ

りますが、国内最多の原子炉を有する本県としては、安全最優先を原則に、国に方針の早期具現化を求め続けていかねばなりません。

北陸新幹線の整備については、県内開業の予定が一年遅れ、令和5年度当初とされていた敦賀以西の認可・着工も見送られるという国家プロジェクトにあるまじき事態が発生しました。工期の厳守や大阪までの早期全線整備を引き続き国に強く求めるとともに、来春の県内開業に向けたまちづくりや首都圏でのプロモーション、県を挙げたホスピタリティの更なる醸成を図る必要があります。

また、中部縦貫自動車道については、大野・勝原間が今月19日に開通する予定であり、令和5年秋の勝原・九頭竜間の開通、令和8年春の全線開通に向け、着実に事業を推進していく必要があります。

この他にも、人口減少対策、地域鉄道の存続、産業振興、農林水産行政、教育行政等、重要課題は山積しております。価値観やニーズの多様化により、従来の発想では課題解決の糸口が見えにくくなっておりますが、新たな切り口で議論を尽くし、一つ一つ答えを出していくことが、県議会に課せられた使命であると考えます。

最後になりましたが、いよいよ統一地方選が目前に迫ってまいりました。全国都道府県議会議長会の要請や、昨年末の地方制度調査会の答申を受け、今国会に、地方議会の意思決定機関としての位置付けや議員の職務の明確化に関する地方自治法の改正案が提出されます。

これにより、地方議会への関心が高まることを期待するとともに、我々一人一人が、議会や議員に課せられた重い役割と責任を、改めて肝に銘じ、県民の負託に応えていかなければなりません。引き続き県政の重要課題に真摯に取り組み、県民が安心して暮らせ、誇りに思えるふるさとの実現に向け、一層の精進と努力をしてまいりたいと考えております。



(第19次民主議会最後の定例会 閉会後の万歳)



定例会最終日の議事終了後、今期限りで勇退する議員が挨拶しました。

左から
山本 文雄 議員 山本 芳男 議員 関 孝治 議員
鈴木 宏紀 議員 鈴木 宏治 議員

長年にわたり、お疲れさまでした。

「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見を願いたします。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/

Facebook：https://www.facebook.com/fukuikengikai

令和5年4月21日発行